

競 技 注 意 事 項

1、規 則

- ① 競技は2022年度日本陸上競技連盟規則、及び本競技会要項、申し合わせ事項によって実施する。
- ② 競技規則 TR16.7「不正スタート」、項目について。
音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意(グリーンカード)に留めるが、繰り返し行う場合は、警告(イエローカード)を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外を行うものではない。

2、練 習

- ① ウォーミングアップは、競技場及び外周路等で危険防止に十分注意して行う。
競技場内での練習は、マーシャルの指示により競技に支障がないと判断した場合のみ、招集手を完了させた競技者だけが行えるものとする。
- ② 公園内駐車場でのアップは、禁止する。アップジョグは、陸上競技場及び競技場外周路や公園内園路を利用。
なお、集団走は園路歩行者優先のため厳に慎む事。また外周路の一部が工事のため十分に注意すること。

3、競技場・競技用靴について

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。フィールドは日本陸上競技連盟施設検定公認の人工芝です。
- ② 競技用靴の規定は、(公財)日本陸上競技連盟競技規則 TR5、2～6 のとおりとする。

4、競技者の招集について

- ① 招集は2回行う。各招集場所は次の通りとする。
第1次招集場所は競技場正門を入ってすぐ右に設置する。
第2次招集場所は各競技スタート地点の場所とする。
招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権をするものとし処理する。
(スタート・中継地点に1次招集所の確認がなく集合した場合、出場を認められない。)
- ② 第1次招集は、競技者本人が自身のアスリートビブス(ナンバーカード)を係に提示し確認を受ける。
確認後、競技者本人のスタートリストに「○」をつけ、係より腰ナンバーカードを受け取る。
リレー競技は、第4走者用の腰ナンバーカードを受け取る。

種 目	第1次招集開始	第1次招集完了
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始 1時間15分前	競技開始 45分前

- ③ 第2次招集場所への集合開始は、第2次招集開始時刻の3分前を目安にして下さい。
第2次招集は、競技者本人がスタート位置後方・リレー中継地点に集合し、出発係から点呼を受ける。
競技者は、アスリートビブスと配布した腰ナンバーカードを右腰後部に装着してあること。リレーは第4走者。
点呼確認完了競技者は競技者係の待機・誘導・指示により、スタート位置に移動する。

種 目	第2次招集開始	第2次招集完了
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始15分前開始	競技開始10分前完了

5、リレー競技について

- ① リレー競技のオーダー用紙は、ホームページのPDFをダウンロード・受付及び第1次招集所で配布。
提出については、その種別・種目競技の1組の第1次招集開始時間までとする。
オーダーについて、プログラムリレー種目に記載してあるリレー自チームのメンバー以外をオーダーする場合、その競技者の、本記録会エントリー種目・組・レーン(試技順)をオーダー用紙に必ず記載すること。
なお、団体責任者の署名確認記載がない場合、オーダー用紙は受付受理できない。
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用すること。
- ③ リレーのマーカ―の使用は1カ所とする。(TR24, 4を適用)。なおマーカ―は主催者が準備したものとする。

6、競技場内移動及び入・退場について

- ・ 競技会は無観客で行うため、競技場内には入場許可標識票(リストバンド)を着装した選手・競技役員以外の入場は認めない。
ただし所定の手続きを経て配布された標識票(リストバンド)を着装したチーム関係者はメインスタンド入場を許可する。
- ・ 競技場内の移動に関して、マーシャル・係の指示に従う。
- ・ 競技者の手荷物は、スタート前に係の指示で、準備している袋などに入れ、指定された場所にコンパクトにまとめ置く事。
- ・ 競技場内での発走地点までの移動進行方向については、基本的に8レーン外側をトラック走行方向とする。
- ・ 100m・100mH・110mH競技の移動・退場については次のとおりとする。
フィニッシュ後、8レーン外側を進行方向に進み、各自の荷物を回収、係・マーシャルの指示で退場、自チームの待機場所に戻る。
- ・ 4×100mリレー競技終了後の移動・退場についても同様とする。
- ・ 4×400mRはフィニッシュ後、荷物を回収、指示された階段から退場、各自チームの待機場所に戻る。
- ・ なお競技終了・退場の際は、特に手指消毒・手洗い・洗顔等感染防止の手順を踏むこと。競技終了後は速やかに帰宅する。

7、アスリートビブス(ナンバーカード)および腰ナンバーカード について

- ① 一般・大学のアスリートビブス(ナンバーカード)は、団体受付で配布したものを使用する。
高校・中学生については、高校・中学体連陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ② アスリートビブス(ナンバーカード)は、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅をしっかりと着装する。
- ③ リレー4走は、1次招集所でオーダー用紙を提出後、配布された腰ナンバーカードを右腰後部に着装する。
腰ナンバーカード着装用ピンは配付しないので、各自で準備すること
なお、上記腰ナンバーカードは、競技終了後に自宅へ持ち帰り処理すること。

8、記録、記録証

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への公認申請を行います。
- ② すべてのレースにおいて、写真判定(電気計時)を採用する。
- ③ 競技記録判定が確定次第、記録結果放送を行う。また後日決勝一覧表をホームページに掲載する。
- ④ 全種目とも、総合1位～8位(Top8、入賞者)には、記録証を授与します。
- ⑤ 一般・クラブチームの入賞者は、総合結果が確定次第放送連絡を行いますので、本部に記録賞を受取りにお出で下さい。
なお、入賞した競技者が集合できないときは、チームの代表者または代理者が、本部に受け取りにお出で下さい。
中学校・高校の入賞者は、顧問・指導者の先生方にお渡しますので、本部に記録賞を受取りにお出で下さい。

9、競技からの除外

競技運営上、必要と認めた場合、審判長は特にレース圏外の競技者のレースを中止させることがある。

10、抗議

2022年(公財)日本陸上競技連盟競技規則TR8によるものとする。

11、その他

- ① プログラム記載内容の訂正は、その競技開始2時間前まで(競技No1～No4は9:00)までに総務へ申し出ること。
- ② 全ての競技において、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。
- ③ グラウンドには、競技者・競技役員以外は入ってはいけない。
競技場内の指示された区域・場所での通行、及び進行方向が指示されている時は、係・マーシャルの指示に従うこと。
- ④ 競技者は清潔で、不快に思われないようにデザインされ仕立てられた服装を着用しなければならない。
- ⑤ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。
また、携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑥ 控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努め、自身の出したゴミは自身で処理し持ち帰る。
(各学校の顧問・引率の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしくお願いいたします。)
- ⑦ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
- ⑧ 陸上競技場以外の松戸運動公園内施設は、借用していないので立ち入らないこと。